

「(仮称) 富里市産業振興ビジョン (案)」に対する意見募集の実施結果の概要

募集期間	平成30年2月15日(木曜日)から3月2日(金曜日)
意見提出者	3人
意見件数	13件

「(仮称) 富里市産業振興ビジョン (案)」に対する意見の趣旨と意見に対する市の考え方

番号	意見の趣旨	市の考え方
1	表紙とP22 「創る」「繋ぐ」「培う」には漢字の上にふりがなをつける。 小中学生でも親しみを持ってもらうことと、標語として市民に広めるためにも、ふりがながついていた方が読みやすいと思う。	ご意見を踏まえ、ふりがなを追加記載します。
2	P5 「「培う」は、……それぞれの産業の醸成を図り、……目指します。」とあるが、「醸成」は、気運・雰囲気などを次第に作り出すという意味で使われるのが一般的なので、「産業の醸成」ではなく、「産業の育成」或いは「産業の成長発展」の方がよいと思う。	ご意見を踏まえ、「産業の醸成」を「産業の成長・発展」と修正します。
3	P17 「小規模企業は地域経済の循環や雇用を支えるとともに、地域経済の安定や新たな産業の創出に重要な役割を果たしている・・・」とあるが、「地域経済の循環や雇用を支える」が「地域経済の安定」を意味していると思うので、「地域経済の安定や」は不要と思われる。 或いは、小規模企業は地域貢献活動の担い手としても重要な役割を担っているので、「小規模企業は地域経済の循環や雇用を支えるとともに、新たな産業の創出や地域貢献活動において重要な役割を果たしている・・・」としてもいいと思う。	ご意見を踏まえ、「小規模企業は地域経済の循環や雇用を支えるとともに、地域経済の安定や新たな産業の創出に重要な役割を果たしている」を「小規模企業は地域経済の循環や雇用を支えるとともに、新たな産業の創出や地域貢献活動において重要な役割を果たしている」と修正します。
4	P18 「千葉県内創業比率」の表について 創業比率について、データ元を記載した方がいいと思う。	データ元を記載します。
5	P18 ③創業支援 「また創業後も事業の継続が難しい状況に	ご意見を踏まえ、「また創業後も事業の継続が難しい状況にあります」を「また創業後も、依然として経営資源・ノウハウが不足している

	<p>あります」とあるが、このように記載するのであれば、なぜ事業の継続が難しいのか、その理由を補足するか、事業が継続されていない状況を表すデータを付けるのが適当と思われる。</p> <p>或いは、「産業振興に関するアンケート」に寄せられたご意見に、同趣旨の御意見があるのであれば、例示しておくというやり方もあろうかと思う。</p> <p>理由を簡潔に記載するとすれば、「また創業後も、依然として経営資源・ノウハウが不足しているため、事業の継続が難しい状況があります」と記載してもよいと思う。</p>	<p>ため、事業の継続が難しい状況があります」と修正します。</p>
6	<p>P22 ◇産業振興ビジョン基本方針のイメージ 6次産業化支援が「創ること」に、農商工連携支援が「培うこと」に位置付けられていることについて。</p> <p>6次産業化は、1次産業の方が、農林水産物を活用して、2次産業、3次産業まで担うことになるという点から、むしろ「培う」の方が相応しいようにも思う。</p> <p>また、農商工連携は、中小企業者と農林漁業者が連携して、新商品開発等を行うものなので、むしろ「創る」の方が相応しいと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、農商工連携支援を「創ること」に、6次産業化支援を「培うこと」に位置付け修正します。</p>
7	<p>P23 2基本方針に基づく具体的方策 (2)商工業の振興 「①課題解決に適した支援策の活用にあたっては、身近な支援機関である商工会が相談対応において果たす役割が重要である」といった趣旨の文章を加えた方がよいと思う。</p> <p>国・県・市等の支援策等の情報を、市がどんなにうまく収集・整理できたとしても、ただ発信するだけではなかなか活用は進まないと思う。</p> <p>中小企業や小規模企業にとって身近な支援機関が、相談を受けた際に、いかに課題を整理し、適切な支援策等を紹介・仲介できるかにかかっているように思う。</p> <p>この積み重ねが、必要な時に支援策を活用しようとする事業者を増やしていくことにつながるのではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえ、(2)商工業の振興「①事業主が…情報発信をします。」の次に、「また、課題解決に適した支援策の活用については、身近な支援機関である商工会が相談対応において果たす役割が重要です。」を追加記載します。</p>
8	<p>P23 2基本方針に基づく具体的方策 (2)商工業の振興 「事業主が、…相談窓口や支援策を効率よく受けられるように…」とありますが、「…</p>	<p>ご意見を踏まえ、「効率よく受けられるように」を「効率よく活用できるように」と修正します。</p>

	<p>効率よく活用できるように・・・」がよいと思う。</p> <p>相談窓口や支援策は、受けるという受け身の姿勢ではなく、事業主が活用していくものだと思う。</p> <p>また、「受けられる」とすると文章上、並列の「支援策」という言葉を除いてつながりを確認してみると、「相談窓口を効率よく受けられる」となって、表現がおかしいと思います。</p>	
9	<p>P23</p> <p>2 基本方針に基づく具体的方策</p> <p>(2) 商工業の振興</p> <p>P18 では、創業支援や事業承継が課題として明記されているので、「創業や事業承継に対する施策を積極的に展開する。」又は、「現産業の持続的展開や新産業の創造」と記載してよいのではないかと。</p>	<p>創業支援については、P24 の5新しい産業の創造(1) 創業支援に記載しています。</p> <p>事業承継については、P23 (3) 人材の確保と育成において「取組の一つとして、事業承継を円滑に進めることも後継者育成・確保の観点から重要な施策だと考えます。」と記載しています。</p> <p>事業者には、創業から事業承継まで総合的な支援を行います。</p>
10	<p>P23</p> <p>2 基本方針に基づく具体的方策</p> <p>(3) 人材の確保と育成</p> <p>マスメディアを通じて大手企業の情報が大量に発信されている中であって、地元への定着を図るためには、就職の時期になってから地元企業をPRしても遅いと思う。子供の頃から接する機会を設けていくことが重要だと思うので、「小学生・中学生の職場体験等を促進し、市内企業の魅力発信と、地元企業への理解促進や将来的な地元定着を図る。」といった趣旨の文章を加えたらどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「このほか、次世代に向けた方策として、小学生・中学生による農業体験や職場体験学習を促進し、市内産業の魅力発信と、地元農業者や企業への理解を深めるため、関係機関と連携を図ります。」を追加記載します。</p>
11	<p>P23</p> <p>2 基本方針に基づく具体的方策</p> <p>(3) 人材の確保と育成</p> <p>外国人労働力の確保は、今後の産業振興の大きな要素となるので、「外国人労働者を含めた、労働力の確保に関する施策を積極的に支援する。」ことを記載したらどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、労働力の確保の意義として「・・・活力低下が進行する懸念があります。」を「・・・活力低下が進行する懸念がある一方で、成田国際空港近接という地域性から、外国人労働者の積極的な雇用による労働力確保の可能性が期待されます。」を追加記載します。</p>
12	<p>P24</p> <p>4 地域資源の活用</p> <p>6次産業化や農商工連携は、農業の振興に関することとしてまとめてもよいのではないかと。</p> <p>6次産業化は、地域資源の活用というよりも、既存の生産、加工、販売スキームを効率的することも大きな意味を持つと思われるので、農業振興の範疇だと考える。また、農商工連携を考えなければ6次産業化も進めていけないので、</p>	<p>6次産業化の主体は農林業者で、農商工連携の主体は中小企業者であり、それぞれ関連の法律があります。しかし、両者とも市の地域資源である農産物を活用しますので、事業の促進については、庁内の連携、県や関係機関と連携を図りながら支援を行っていきます。</p>

	農業の振興に両方を加えてもよいのではないか。	
13	<p>様々な施策の展開をするにあたり、各関係機関との密接なコミュニケーションを図っていくことと、各事業者スムーズなサポートを推進していく体制を確立していくことを明記すべきである。事業者が、非常に便利できめ細かいサポートをしてもらっていると感じる体制を作れなければいけない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、2基本方針に基づく具体的方策（3）人材の確保と育成の次に、 （4）推進体制の確立</p> <p>様々な施策の展開にあたり、市は国・県の施策の情報把握に努めるとともに、農業、商工業関係各機関とのコミュニケーションを図りながら、スムーズなサポートを推進する体制を確立します。</p>